

A I ・ デジタル社会と活用

自己点検・評価報告書

令和 4 年度

甲子園短期大学

## 【趣 旨】

甲子園短期大学の教育の質の向上を図るため、自己点検・評価等に通じた内部質保証に取り組むことを目的として、IR(大学機関調査)推進委員会を置き、AI・デジタル社会と活用の自己点検・評価を実施する。

## 【目 的】

AI・デジタル社会と活用を適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的として、AI・デジタル社会と活用に関する知識及び技術の基礎的な能力の向上を図ることを目的とする。

## 【組 織】

- I R 推進委員会
  - 教育研究センター
  - 学務部委員会
  - 情報倫理教育委員会

## 【令和4年度点検・評価の対象】

『IT技術Ⅱ（全学科開講）』の履修学生の学習成果および学生による授業アンケートを対象とした。

## 【評価結果の判定】

評価結果に基づき、以下の4段階の評価レベルで判定を行った。

- ④ 優れた点であり、目標は十分に達成できた
- ③ 良い点があり、目標は概ね達成できた
- ② 目標達成が不十分であり改善点がある
- ① 目標がほとんど達成されていない

## A I ・ デジタル社会と活用の自己点検・評価（点検項目 1～10）

### 【点検項目 1】

AI・デジタル社会と活用は、本学の建学の精神と教育目的に合致している。

<結果>

建学の精神は、あらゆる生活並びに行動の基本で、With そして Post コロナ社会とこれからの AI 化時代にも必要とされる理念であり、専門の職業に従事し社会の発展に貢献できるプログラムである。

<評価>

AI・デジタル社会と活用を導入することは建学の精神を推進することにつながる。

1：評価④

### 【点検項目 2】

AI・デジタル社会と活用は、全学・各学科のディプロマポリシーに合致している。

<結果>

AI・デジタル社会と活用は、各学科の定めるディプロマポリシーに沿っており、専門的知識や技能を実践的場面で活用できる。

<評価>

総合教養科目（全学科開講）は、各学科のディプロマポリシーに合致している。

2：評価③

### 【点検項目 3】

AI・デジタル社会と活用の取組みは充分である。

<結果>

令和 3 年度にカリキュラムの見直しを行い、AI・デジタル社会と活用を含めた講義内容にした。

<評価>

情報関連科目を全面的に見直し、総合教養科目に「映像とデジタル表現」、各学科共通科目に「IT 技術応用 I・II」を追加し専門的知識や技能を実践的場面で活用できる内容となっている。

3：評価③

**【点検項目 4】**

教育プログラム修了者の進路と活躍状況を把握し、修了者および就職先から意見聴取を行っている。

<結果>

就職先からの意見聴取を行っている。現状 100%の回答率ではないが、保育所・幼稚園・介護施設から良い評価をいただいている。

<評価>

4：評価③

**【点検項目 5】**

評価結果を学内および社会に公開している。

<結果>

本学のホームページに掲載している。

<評価>

5：評価③

**【点検項目 6】**

各学科のディプロマポリシーにおける当該プログラムの位置づけを理解し、各学科のカリキュラムポリシーに則って授業を計画している。

<結果>

各学科における科目の位置づけを理解し、I R推進委員会・教育研究センター・学務部委員会の検討課題として、カリキュラム変更を行い計画的に取り組んできた。

<評価>

各委員会は定期的を開催しており、授業内容・授業アンケートをもとに、毎年点検評価を行っている。

6：評価③

**【点検項目 7】**

学習成果と達成目標が適切な方法で成績評価が行われているか。

<結果>

成績の基準と評価手段は講義概要（シラバス）に明確に記載されており、評価は厳正に行われている。

<評価>

講義概要（シラバス）に明記され厳正に行われている。

7：評価④

**【点検項目 8】**

成績評価・学習成果状況を分析し、次期の授業計画に活用している。

<結果>

成績評価・学習成果・授業アンケートを分析し次年度の授業に反映している。

<評価>

授業アンケートの都度、授業担当教員は「自己評価及び改善計画書」を提出している。

8：評価③

**【点検項目 9】**

授業アンケートの結果を参考に教育方法、評価方法等、定期的に改善を図っている。

<結果>

授業アンケートの結果を教員へデータで送付している。公開授業など各委員会において教育方法、評価方法等、定期的に改善を図っている。

<評価>

前期、後期終了後、各委員会で検討した内容を I R 推進委員会で諮り決定している。

9：評価④

**【点検項目 10】**

AI・デジタル社会と活用を支える人的、物的資源を整備している。

<結果>

AI・デジタル社会と活用の課題について、I R 推進委員会で検討し整備を行っている。

<評価>

情報機器ならびに設備については、計画的に更新している。また、ラーニング・コモンズでは、学生が主体的な学びを通じて、問題解決能力の向上や発信力のスキルアップ等に努めている

10：評価③

**【特記事項】**

科目連携授業の実施で情報関連学会のコンクールに応募し入賞した。

**【総評】**

平成4年度よりカリキュラム変更を行い、積極的にAI・デジタル社会と活用を構築したことは評価できる。

<データチェック表>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	3	3	3	3	3	4	3	4	3

(質問内容)

1. AI・デジタル社会と活用は、本学の建学の精神と教育目的に合致している。
2. AI・デジタル社会と活用は、各学科のディプロマポリシーに合致している。
3. AI・デジタル社会と活用の取組みは充分である。
4. AI・デジタル社会と活用修了者の進路と活躍状況を把握し、修了者および就職先から意見聴取を行っている。
5. 評価結果を学内および社会に公開している。
6. 各学科のディプロマポリシーにおける当該プログラムの位置づけを理解し、各学科のカリキュラムポリシーに則って授業を計画している。
7. 学習成果と達成目標が適切な方法で成績評価が行われているか。
8. 成績評価・学習成果状況を分析し、次期の授業計画に活用している。
9. 授業アンケートの結果を参考に教育方法、評価方法等、定期的に改善を図っている。
10. AI・デジタル社会と活用を支える人的、物的資源を整備している。

(確認事項)

- 授業内容
- 就職先意見聴取
- HP
- カリキュラムマップ、ポリシー
- 学習成果・成績評価
- 人的・物的資源
- 点検項目の変更・修正
- 前期/後期
- 評価報告
- 総評

(授業アンケート) 5: そう思う 4: ややそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない  
1: わからない

- ・ 授業内容は理解しやすかった
- ・ 総合的にみてこの授業に満足できた
- ・ 講義概要に書かれた到達目標を達成できた